

うれいの

議会だより

出産一時金が5万円増額 3P

一般質問に最多の19人が登壇 10P

台風13号爪あとを残す 26P

澄みきった秋空に舞うエコバルーン
(和泉式部公園)

9月 定例議会



平成18年第3回定例会が、9月8日から21日まで14日間の日程で開催されました。
提案された議案は、一般会計補正予算・特別会計5件・水道事業会計補正予算、条例制定は、出産一時金の助成他10件。「新しい地方分権改革の推進を求める意見書」。「飲酒運転の追放に関する決議」が上程され、慎重な審議の結果、賛成多数で可決されました。
賛否表はP7、陳情はP8～9です。
一般質問は19名が4日間にわたり市政を質しました。

補正総額 1億5,244万 4千円
当初からの総額 112億1,659万 1千円

9月補正の主なもの

単位 千円

	区 分	補正額	説 明
総 務 費	委 託 料	10,908	市例規集更新管理データ作成業務
民 生 費	補 助 金	3,000	地域共生ステーション推進事業
〃	〃	2,150	宅老所開設支援事業
衛 生 費	備 品 購 入	3,500	ごみ中継基地コンテナ
土 木 費	土木請負費	4,500	緊急性が高い危険箇所 5箇所
教 育 費	委 託 料	23,377	図書館システム統合
災害保障費	工事請負費	29,053	農地（17箇所）・施設（7箇所）災害復旧工事

定住人口の増加になるか？ 企業誘致条例を改正

市内に企業が立地した場合の奨励措置として、固定資産税の課税免除、設置奨励金の交付及び雇用奨励金の交付がありますが、今回の一部改正は雇用奨励金の交付対象を見直しました。

今議会においても、数名の議員から企業誘致に関する質問があり、その必要性について、大いに議論がなされました。

久間工業団地へは、現在7社の進出企業があり、その内の数社においては増設が進められています。

条例改正前は、市内からの常時雇用者が新設並びに増設の場合も、10人以上を対象としていましたが、増設の場合は5人以上の新規雇用者を対象として、雇用奨励金を交付するように改正されました。

当該事業開始後、新規雇用者を1年間引き続き

雇用した事業所に対し、従業者一人につき30万円が、雇用奨励金として交付されます。また雇用奨励金の限度額は、100

0万円です。今後、企業等誘致条例が大いに活用され、多くの企業が進出してくれば、市内の定住人口の増加につながるため、全国の企業に向けて、PRされることを期待します。この条例は、平成18年10月1日から施行されます。

自動車産業誘致 官民連携の組織

佐賀県、10日に設立

佐賀県は三日、自動車産業への地元中小企業の参入と育成を目的に、官民連携の「佐賀県自動車産業振興会」を十日に設立すると発表した。関連企業の誘致と雇用の増大にも期待している。

振興会には、自動車産業の専門家を中心とした「重点支援チーム」を結成。新規参入を検討している企業の生産管理や技術向上など事業計画を策定して進出を後押しするほか、大手部品メーカーとの商談会開催や人材確保にも協力する。

振興会は県内の金型やプレス部品製造会社で構成、会長も地元企業経営者が務める。特別顧問にはトヨタ自動車の張富士夫会長が就任する予定。県は会員百社を目標に設定し、将来的には完成車工場など自動車会社本体の進出にもつなげたい考え。古川康知事は「地場企業育成と企業誘致との相乗効果を期待している。他県と同様の会と連携して、北部九州の自動車産業拠点化を進めたい」と話している。

▲10月4日 西日本新聞より

子育て支援に5万円アップ



▲この子も今日から嬉野市民

出産育児一時金30万円が10月1日より35万円に条例改正され、出産費用の負担が軽減されます。

少子化が進行し、嬉野市の人口も8月31日現在で3万105人となりました。

推計では、平成22年度には2万8千900人になる見込みです。

人口減少が進めば、市の活力が低下することは目に見えており、何とし

ても歯止めをかけねばなりません。

今回の取り組み以外にも、子育てに負担がかからないように保育費・保育時間・医療費などに、子育て真っ最中の皆さんの意見、要望を取り入れて支援の拡大を望みます。さらに、地域の皆さんの力をいただき、協力体制の整備が進むことを期待します。

大野原自治会を 指定管理者に



▲さらなる活用を（大野原）

大野原地区のコミュニティセンターは、平成11年3月に防衛庁の補助金と、嬉野町の公民館建設補助金、そして地元地区の負担金で建設されました。

しかし、防衛庁の補助金は、行政への補助に限定されていたため、コミュニティセンターは嬉野市の所有施設になっています。

そのため、今までは大野原区に維持管理を委託していましたが、指定管理者制度のために、今回条例の改正と指定管理者の指定がおこなわれました。

指定管理者として、大野原自治会が申し込まれ、

選定委員会で選定され、今議会です承されました。

当センターは、今までも大野原区の集会施設として利用されてきましたが、今後は、他地区や各種団体が利用されるように、大野原自治会と行政が連携してPRに努め、事業収益が見込めるような活動が必要となります。また、大野原小・中学校及び同校PTAと連携し、児童・生徒の健全育成を図り、自衛隊の訓練基地となっていることもあり、自衛隊との親睦・交流が、コミュニティセンターを核として、さらに深まるよう期待されます。



▲今日も楽しい宅幼老所（今寺）

困った「イノシシ」

イノシシの駆除や防除に対しては、県の補助を受けて対応していますが、

今回、新たな事業としてイノシシから農作物を守るため、被害防除資材の設置に対して、予算の範囲内で補助金を交付します。

予算額は、被害防除のトタン柵、フェンス、電気牧柵を設置するために要する経費として85万円です。

補助を受けることができる人は、農業をされて

いる人で、3戸以上の共同者となります。

イノシシ被害は全国に及んでおり、NHKの「地域の底力」という番組で対処のやり方を放映していました。

嬉野市もイノシシ対策指導員3名を養成しイノシシの習性や防除方法について研修をされています。

成果を早く出せるように期待しています。



▲一度に3頭猟れました（西吉田）

大型車も駐車可能 市営駐車場

嬉野市営
嬉野中央駐
車場・嬉野
インター駐
車場に加え
て、嬉野イ
ンター第2
駐車場が整
備されます。
嬉野イン
ター高速バ
ス待合所前
の広場を3
年間借地し
て、一般車両の他、大型
自動車・大型特殊自動車
及び小型特殊自動車を含
む車両の利用ができるよ
うに、整備されます。
嬉野インター駐車場は、
駐車台数が少ないために
駐車できなかった車両が
道路の路肩に駐車され、
交通事故の危険性が指摘
されていきました。
また、嬉野温泉旅館・
ホテルなどを利用される
大型バスや、マイクロバ
スなどの駐車場が確保出
来るようになり、宿泊客
への大きなサービスの提
供が図られます。
利用料金は、一般駐車
が、24時間ごと200円、
大型駐車が、24時間ごと
400円となります。
来々、県内各地で開催
される全国高校総体の一
般・大型駐車場として、
嬉野温泉旅館・ホテルを
利用して頂く皆様に、大
いに利用してもらうよう
期待されます。



▲第二駐車場（インター前）

ぬくもりの心を地域で

佐賀県では昨年から、
地域において、子供から
高齢者まで、また、障害
の有無にかかわらず誰も
が住み慣れた所で、安心
して生活ができるように、
地域住民・NPO法人・
CSO（市民社会組織）・
ボランティアなどが協調
して様々な福祉サービス
を提供できる施設「地域
共生ステーション」に、
家屋の新設や、改築費の
補助金として、県が
150万円、市が300
万円を限度額として補助
されます。
嬉野市では、NPO法
人こだまによる地域共生
ステーション「ぬくも
りの家―葦の里―を空き
民家を改造して平成19年
2月から運営されます。
また、概ね10人程度の
認知症や、一人暮らしの
高齢者などに対して、可
能な限り続けられるよう
に介護・福祉サービス
を提供できる宅老所が、今
年12月にNPO法人はた
るによる宅老所「しきな
み」が、自宅を増築して
運営開始されます。
国の大きな流れは、施
設から地域の中での生活
ができるように取り組み
を進められています。
地域で暖かく迎えるこ
とができるような環境づ
くりが求められています。

楠の木よ蘇れ



▲回復を待つ楠の木（楠風館）

楠風館のシンボルとし
て正面玄関にそびえ立つ、
樹齢350年の楠の木が、
樹勢も弱り、枯死の危険
性があると予想され、樹
木医の診断を受けていま
す。
平成15年オープン後か
ら、徐々に弱まり、原因
として根回りの状態が悪
く、呼吸ができないとい
ことでした。
そのため、17万4千円
の予算を計上し、楠の木
樹勢回復工事に着手しま
す。
今年度は、不要枝の伐
採と全体の50%の根回し
をおこないます。
2年目も不要枝の伐採
と残りの根を切り、廻り
のコンクリート擁壁を撤
去します。
これは、新根発生をう
ながすためです。
3年目は、クレーン車
で楠の木を吊り上げ、60
cm程度高い位置に据え付
ける計画です。
総工費は、320万
円程度かかる予定です。
早く青々とした勢いの
ある状態に戻して、楠風
館を訪れる来館者を温か
く迎えてくれるようにし
てあげたいと思います。

待ちに待った 市道進入口の改良

(納戸料地区)

鳥越トンネル、皿屋バイパスの開通により、吉田經由の県道鹿島・嬉野線を利用する車両が大幅に増加しました。

これによって、吉田地区へは、今まで皿屋經由の県道を利用されていましたが、新しいバイパスを通り、納戸料交差点を右折し、吉田保育園前の市道を経由される車両が急増しています。

しかし、県道から市道への進入口が非常に狭く、車両の離合も出来ない状況で、加えて県道の勾配もあり、以前から、この進入口交差点の改良工事の強い要望が、地元納戸料区や、吉田地区区長会などから出されていました。

また、この市道は通学・通園道路として利用も多く、地元PTA・婦人会からの強い要望も出

されています。

今議会に、市道進入口交差点改良工事のための測量費が提案され、議会の承認が得られました。

今後、適切な測量設計がなされ、早急な改良工事の施工が待たれます。



▲動きだした改良工事（納戸料）

利用増になるか 図書館システムの統合

嬉野市塩田図書館は、旧町時代から、蔵書のデーター化が導入されていました。嬉野図書館は、未整備でした。

3月定例会で、嬉野図書館の蔵書データー化が予算化され、現在、作業が進められています。

図書館システムの統合により、端末機の操作で、求める蔵書の有無の確認が、嬉野・塩田図書館で同時に検索できます。

また、嬉野、塩田両図書館で、ホームページを立ち上げることで、利用者は、自宅からホームページを使って、図書館蔵書の検索利用ができるようになります。

平成17年度における利用状況は、利用者が一日平均嬉野・44人、塩田・42人、貸出点数一日平均嬉野・160冊、塩田・131冊でした。

塩田図書館では、毎週

二回塩田地区保育園、幼稚園、五町田小学校谷所分校の、巡回貸し出しをおこなっています。

図書館システムの統合をおこなうことで、多くの市民の利用・活用の実が図られ、さらなる嬉野市の文化・教養の向上を期待します。



▲さらに便利になる図書館

旧 塩田町 嬉野町 (平成17年4月～12月) の水道事業決算

水道料金の滞納に

打開策は

平成17年度塩田町水道事業会計及び嬉野町水道事業会計の決算認定について、平成18年7月25日・決算審査特別委員会が開催され慎重審議されました。

塩田町の水道事業は、有収率（料金となる水の量）が83.5％で前年度比8.1ポイント上昇し、無駄な水が減りました。

ここ5年間で最も高い有収率となり、漏水に対して迅速な対応ができていました。

次に、佐賀西部水道事業団からの給水の余剰水（1日当たり2000t）については、早急な対応が望まれます。

また、井戸水を利用されている世帯の把握と水質検査の実施を早急におこなう必要があります。

水道料については旧両町に十分な配慮をおこなう必要があり、早急な対応を講じらるべきです。

嬉野町の水道事業については、漏水調査の徹底により有収率が1・5ポイント上昇し84・5％になっています。



▲陣野ポンプ場（上岩屋）

水道未普及地域の解消や施設整備を重点的に推進されていく一定の成果は見られ、これに伴い減価償却費の増加や企業価値還利息（水道事業のため借り入れたお金の金利）の高額化を引き起こし、経営状況は厳しくなると考えられます。

水道料金未納者に対しては停水処置も講じられています。が、昨今の経済状況を見れば、今後も滞納額の増加が危惧されます。

収納対策には今まで以上に努力すべきです。

賛否表

	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	結 果	表決数	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	秋月留美子	園田浩之	副島孝裕	田中政司	川原等	織田菊男	芦塚典子	神近勝彦	太田重喜	山口栄一	野副道夫	深村繁雄	副島敏之	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山田伊佐男	山口榮秋
市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決	19: 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
大野原地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可決	20: 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
市営駐車場条例の一部を改正する条例について	可決	20: 1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	19: 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
企業等誘致条例の一部を改正する条例	可決	21: 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住民基本台帳の閲覧に関する条例を廃止する条例	可決	21: 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について (大野原地区コミュニティセンター)	可決	19: 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
一般会計補正予算	可決	17: 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●
国民健康保険 特別会計補正予算	可決	19: 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

想いをかたちに

情 4 件

井手川内三反田地区の 歩道改修を

●陳情者——井手川内区長 宮田秀一郎他4名

車乗り入れ口と歩道の
スロープが急勾配のため
夜間は歩行困難です。

また、車椅子や盲人の
方の通行は不可能です。

通学児童はもとよりお
寺参拝の高齢者も多く利
用していますので早急な
改修を要望します。

●審査意見(採択)

願意妥当と認めます。

車椅子でも通行できる
よう所轄課に申し入れま
す。

産業建設委員会



▲車椅子は通れない歩道（井手川内）

納戸料地区の 道路拡幅を

●陳情者——納戸料区長 松元 広巳他8名

通学・通園道路として
も使用されていますが進
入口が非常に狭く、車両
の離合ができない状況に
あります。

非常に危険なため拡幅
工事をお願いします。

●審査意見(採択)

願意妥当と認めます。

9月補正で計上された
調査費を活かし、地域住
民と協議の上早急に対応
されるよう所轄課に申し
れます。

産業建設委員会



▲危ないせまい市道（納戸料）

意見書

国政へもの申す

新しい地方分権改革の推進を求める

地方分権を国会・国民の理解のもと強力に推進することで、地方交付税を地方共有税に変更し、税源移譲や国の関与の見直しを進め、地方の自由度を高めること。

また、地方の道路整備等の充実など「都市」と「地方」の地域間格差の解消を図ることを柱に、地方自治法第99条の規定

により意見書を提出する。

佐賀県嬉野市議会 議長 山口 要

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
内閣官房長官様
経済財政政策担当大臣様
総務大臣様
財務大臣様



▲地方に活力を

住民の陳

トンネルじん肺問題の
全面解決に支援を

●陳情者—— 重下元と熊澤豊寛 甲斐 諭他1名

●審査意見(採択)

願意は妥当と認めます。
早急な全面解決を図ら

れるよう今後も協力します。

総務企画委員会

WTO農業交渉に
関する要請書

●陳情者—— JA薩みどり組 松尾 忠男 他3団体

●審査意見(採択)

願意は妥当と認めます。
関連する具体的な問題

が発生した場合に議会として迅速に対応します。

産業建設委員会

ここが聞きたい

ただ を質す!!

議会をテレビで
ご覧ください。

放映日時については
議会事務局へ

(0954-66-9127)

文化社会体育館建設と 塩田中学校耐震問題は

平野 昭義 議員

答 耐震診断の結果では中学校を優先



平野 現在の縦割り行政の中でも、このような重大な問題については、学校教育課と企画課は常に連携し財政面でも効率的に進めるべきでないか。

市長 以前からの手法で担当部署の方で予算を受

け実施してきた。

平野 耐震問題が浮上する今日、社会体育館との優先順位は。

市長 耐震調査の結果しだいでは優先課題としていくが、中学校の改築とは切り離して議論が進められてきている。

平野 目前に二つの重大な問題が発生しているが、財政を含め両案を真剣に議論された経緯はあるか。

市長 学校施設と体育館は別とすることで引継ぎをしているので並列で考えたことはない。

平野 塩田中学校は、遊水地に建てられ二階以上が教室・築37年二つの重大な問題は合同ですめるべきではないか。

市長 この二つの問題は当初から別々で議論されてきているが耐震調査の結果では優先課題としていくことを承知している。

平野 三月議会で二つの事業が提案されたことはチャンスと考えている、理想的な文化体育館と、安心して学べる学校建設を総合的に協議をすすめ、財政上、環境上また、利

便性からも市民から喜ばれる建設計画を望む。

企業誘致に 団地造成を急げ

平野 三・六月議会以降今日までの取り組みと成果について

市長 今、「空き工場とか民有地」の調査や既存の会社訪問など鋭意努力している。

また、企業が進出して頂く施策を始めたところである。

団地造成は将来の課題として考えていく。



▲耐震診断を待つ塩田中学校

行政嘱託員の 定数見直しについて

平野 この問題は、塩田町行政委員会から、平成9年に答申されている。

市長 対話集会でも多くの意見が出たが見直しについてお願いしたい。

区長の存在はますます重要になっていく。嘱託員は今後地域を受け持つ自主的な推進役として考えていく。

その他の質問

給食センター雇用形態の見直しについて

一般質問に 最多の19人が

市政



副島 敏之 議員

塩田中学校の耐震検査について

答 最優先にする市政の課題である

副島 平成18年度予算に

1千万円計上されていた塩田中学校の耐震検査について、現在どのくらいまで進んでいるのか。結果によるが建設についての思案はあるのか。

市長 準備を行っており将来の整備に向け体制をつくってまいりたい。年度内には発注をして

調査を行う。

今回の耐震調査の結果を分析する時間も相当必要であり、県、国とも相談しながら実際取り組めるのは、5・6年かかると思う。

企業誘致の 早期促進について

副島 市内の経済効果を

高め、働ける場所を提供できる企業がぜひ必要である。

塩田町が以前誘致した自動車関連企業2社は今日、大きく増産を図るべく拡張工事がされ、今後

も大いに期待される。今後についてはまず用地が必要である。

それについては工業団地周辺、また近くには広い丘陵地があり、地質については、工場関係者の話だと非常に地盤も固く、申し分ないとのこと。

水も必要であるが、塩田町においては、1日約2000tの余水がある。

そこで庁舎内に企業誘致課を立ち上げ、専門的にプロジェクトチームを組み、慎重に計画され実現に向けて実行されたい。なお民間会社を退職さ

れた地元出身者の優秀な人材が沢山おられる。

そういう多くの民間の方々の協力も受けながら、市民全体で市の経済の活性化に努力すれば、結果としていい街づくりになると思うが。

市長 組織の整備については、今後検討してまいりたい。

現在は助役を先頭とし組織をつくり、民間のノウハウを持ってもらえる皆さん方との連携については、既に話し合いの中では出しており有効な施策などに反映させていきたい。

その他の質問

旧両町の保育園の保育料・私立保育園の保育料の減免について



▲操業中の進出企業

谷所分校の安全確保は

神近 勝彦 議員

答 用務員の勤務で対応したい



神近 谷所分校は来年度から、生徒数が8名となり複式学級になる。そして、教職員は1名となる。学校内への不審者侵入の対応などを考えると大きな不安がある。

子ども達の安全を確保するためにはどうするか。
教育長 地域の民家などの支援を受けながら、安心・安全に十分留意して対応しなければと考える。また、分校の用務員は勤務が午前中の4時間だが、7時間に延長して、子ども達が下校するまで、教職員と2名体制が取ればと思う。

子ども達の安全のために、用務員の勤務時間を必ず延長すべきだ。また、T T制度を活用して、短時間でも教職員
神近 この県道は幅員が狭いうえ交通量は多い。子ども達の通学や地域の方々の生活を安全にするためには、歩道が必要だ。県や市の考えは。
市長 通行車両の多さは承知している。



▲真剣に学んでいます（谷所分校）

先日開催された、県土木事務所との意見交換会で意見としてでした。今後、実現に向け要望を続けていく。
神近 年1回の交換会では要望されたということだが、地元では期成会も設置された。再度、鹿島土木事務所や県庁の土木課に要請する考えはないか。
市長 今後、地元と十分連携をとりながら、ぜひ強力に進めていきたいと思っています。

市の財産管理は一元化を

神近 公会堂やみゆき公園など、維持管理は各担当課で、嘱託、臨時職員を配置している。市民の利便性、職員の効率性を考えれば、管財係りを独立させ、一元管理をおこなうべきと思う。
市長 合併直後ということ、担当別におこなっている。できるだけ効率的に、またスピーディーに取り組むことができるような方式を考えたい。

「轟地区周辺整備事業」を計画せよ

田中 政司 議員

答 状況が許したにせよ
暫く時間を置かなければ



田中 嬉野町の岩屋川内の轟小学校の北側の轟地区は、平成9年に区画整理事業の計画がもち上がり、組合施工による計画で組合設立に向け事業計画や関係機関との協議などが進められてきた。しかし、事業計画策定後の経済の大幅な変動による地価の下落や工事単価の変動など、社会経済の変動により、県の設立認可の要件もかなり厳しいものになっている。組合では、昨年末に今後の方向性を見出すため、地権者へのアンケート調査が実施された。その結果、同意率70%の現状や景気が低迷している現状では、組合設立は当分の間保留との結論が出された。しかし、51戸の地権者のうち34戸の方が事業に賛同しておられ、その中でも22戸の方が早急な事業の実施を望んでおられる。そういう状況を踏まえ、市としては観光名所の「轟の滝公園」の整備と合わせた「轟地区周辺整備事業」を計画してはと考えるが。
市長 現在の区画整理事業を推進していくので手いっぱい状況である。状況が許し、検討することになったにしても、しばらく時間をおかなければならない。



新幹線の必要性を説明すべきだ

山口 榮一 議員

答 対応を進め努力していく

山口 新幹線については江北、鹿島の同意が得られないまま現在に至っている。

国における予算10億円も2年間付けられたが、執行出来ない状態である。財政負担は国が3分の2、地方が3分の1の負担で整備がおこなわれる計画だ。

将来を見据えた観光や人的交流により、地域の活性化、企業誘致など、地域経済にもたらす影響は大きいと考える。

市民に具体的な必要性を説明すべきではないか。

市長 市民のご理解を受け現在まで推進活動を続けてきた。

合併後嬉野市全体への

説明が遅れているので対応を進め、今まで以上に努力していく。

山口 新幹線駅に伴うまちづくりについてはまだ語られていない。

周辺には伝建地区が、有田・塩田津・鹿島の浜があり、日本の三大稲荷である祐徳神社がある。

佐賀、長崎の観光施設と連携すれば、客も増えると考ええる。

新幹線駅近くに温泉施設計画があるが、駅周辺の開発構想は。

市長 福岡から1時間以内で来る駅になるので、いろんなイベント、学会など行える施設とエリアが計画に入っている。

茶の品種許諾の状況は

山口 この問題は1年前から提案してきたが、進

んでいない。収穫された製品にも罰則がある。

12月頃から厳しい取り締まりが行われるが現在どうなっているか。

市長 現在、西九州茶連で宮崎と筑波の関係機関に対し、申請が行われている。

山口 品種についてどういったものか。

市長 「宮崎」に、みなみさやか・さきみどり・みやまかおり・はるもえぎ、「筑波」に、りょうふう・はるみどり・そうふう・さえみどり・ふうしゅん・べにふうきを申請していると報告を受けている。

その他の質問

高校総体対応について。空き家対策について。

公共施設への有料広告の掲載を

田中 現在、佐賀県や佐賀市などでは、公共施設や県・市が作成する封筒などに、財源確保の一環として有料広告の掲載がおこなわれている。

当市でも検討すべきだ。

市長 自主財源確保による財政の健全化は検討していかなければならない。公共施設については、可能と考えているので研究する。

田中 佐賀市では、有料広告の収入は一般財源と

して扱われている。

今後研究され、市として取り組むとしたら、目的をもった財源（たとえば球場フェンスの広告収入はスポーツ振興費など）として活用できないか。

市長 財務の規則上、そういうことが出来るかどうか研究しなくてはならない。趣旨は理解できるが、全体の予算の中で考えるのが適当ではないか。

その他の質問

※有害鳥獣対策について



▲新幹線促進協議設立総会（10月5日）



▲区画整理を待つ轟原（下岩屋）

ポジティブリストと ドリフト防止

太田 重喜 議員

答 推進していくよう
対応する



害獣駆除を通年で

う提言されているが、私も勉強してみたいと思っている。

太田 ポジティブリスト（残留農薬基準値）とドリフト（漂流飛散）防止について、どのように取り組んでいくか。

市長 関係者と協議し、助言指導を推進する。

太田 ドリフト防止ネットや、噴口の普及に助成はできないか。

市長 研究していく。補助については検討していないので答弁できない。

太田 水田への空中散布をどう思うか。

市長 労力・コストの削減になっている。他県の知事がやめるよ

太田 農地・農産物へのイノシシ、ムジナによる被害が年々大きくなっている。通年駆除を。

市長 県と相談していきたい。

太田 イノシシの年間捕獲頭数は。

市長 17年度、嬉野283、塩田127で合計の410頭である。

市道諸津線・県道嬉野下宿塩田線の整備を

市長 非常に厳しい状況である。順次進めるようお願いしていく。

太田 通勤、通学路であ



深村 新たな農業改革の1つとして施工される環境保全を、地域ぐるみで取り組むことにより、水田・普通畑の面積に対しそれぞれの交付額がある。実現のためには県市町の負担割合があるが、市の持続的発展と地域資源確保と環境保全に是非取り組んでもらいたい。

市長 地域全体の対策を具体的に進める対策として大切な制度と理解する。集落全体で取り組みを進め農業生産基盤を整備しなければならない。

今後は集落営農組織が結成された地域ごとに聞き取りをして地域保全へ努力したいと考えている。今度は具体的に予算を含めて取り組んでいく。

農地・水環境保全向上対策を 導入せよ

深村 繁雄 議員

答 取り組んでいく

国庫事業について

深村 集落営農育成確保緊急整備事業として、個々の所有する農機を整理処分しコスト低下を図り、経営の合理化、効率化を進めるために国は、農機の査定処分買い上げ、リースの費用支援に補助が出るが、市として取り組みめないか。

市長 この事業は市町村が主体となって計画をつくることになっている。集落営農の組織が順調に動きだしてから関係者と協議し実態把握して、進めることになるので、しばらく時間がかかると思っています。

塩田中学校耐震診断調査について

深村 当初予算単独で



▲地域をあげて共同作業

1千万円を計上し人命にもかかわる重要な調査を今だにしていない。補助があつたので申請準備をしていると言うが予算を組む前に調査したのか。

教育長 合併前17年度に耐震診断をした」と計画したが、文部科学省の方では耐震診断のみでは補助がでないので18年度単独でお願いした。

深村 診断結果が最悪の事態を当然予測しなくてはならないと思うが。

教育長 結果を受けて耐震補強ですむのか、改築になるのか、いずれにしても大変な予算を伴うので十分協議し、統合計画の中で位置づけていききたい。

り、新市の一体化のためにも重要な道だ。

市長 十分承知している。引きつづき努力する。

ウエディングゾーン
として嬉野の売込みを

市長 小田原市の取り組みは非常に興味深い。新しい観光魅力として取りくみたい。

ホテルなどを中心に披露宴会場として施設は市内に13カ所程度はある。

市外からの市内での結婚式は100組位、市民の市外での結婚式は



▲おっとあぶない市道諸津線（下野）

141組であった。

県有林 アジアの森
巨木の森を観光資源に

太田 県有林、アジアの森、メタセコイヤの森、ヒノキの巨木群、林内遊歩道を観光へ活用せよ。

市長 温泉街から歩いても行ける、観光資源として活用したい。PRもしていきたい。

その他の質問

茶についての2件

重要伝建保存事業の進捗状況は

副島 孝裕 議員

答 整備地区4箇所を決定し、9月から取りかかる



副島 重要伝建保存事業が始まったが、この予算の進捗状況は。

市長 今年度、鬼崎家・井上家・小野原家・常在寺の整備などに、9月から取りかかるよう準備している。サイン計画も発注して、予定通り整備できると考えている。

副島 今回編集されている小学校・副読本に塩田津に関する記載はあるか。

教育長 副読本「私たちの嬉野市」を13名の編集委員で作成を続けている。「伝統のまち塩田校区」のなかで、重要伝建地区に指定されたことを、写

真とともに記載し、「今も残る長崎街道」のタイトルで、江戸時代の「塩田津」の繁栄の様子を記載している。

この副読本は小学校3年生から中学校3年生まで全員に配布する予定である。

副島 この事業を最も理解し、応援していただきたい町並み研究会や、塩田職人組合の皆様のかかり合いについては。

社会教育課長 塩田職人組合、あるいは町並み研究会の方々の熱い思いの後押しで、伝建事業が指定を受けることができたと思う。現在ある研究会組織を、今後、保存会という形で組織化を図り、会員を募りながら、その保存会組織を充実、拡充していく計画である。

両岩神社の県指定重要文化財について

副島 吉田公民館などを利用して、地元のみならず公開展示ができないか。

市長 伝統的なものであり、現地にあった方が良く、地元も強く要望しておられる。現在の状況では県に保管してもらうのが良く、公開展示については、県に問い合わせをして、それが可能か研究したい。

自動販売機の設置について

副島 相手の顔が見える市内の業者を、優先できないか。

市長 市内、市外で選別をしている事実はない。設置については、無制限に放置しているわけではなく、利用の安全面や、スペースに合う分については許可をしている。市内の方が要望されれば、もちろん設置もできる。



▲両岩神社所蔵・木造神像・仏像五軀（写真提供 佐賀新聞社）

少子化にどう歯止めをかけるか

園田 浩之 議員

答 産みやすく、育てやすい環境整備が必要



園田 6月議会で承認された乳幼児医療費の助成と児童手当の支給対象が延長になったことは、少子化対策に功を奏するし、評価できる。

行政は、少子化を含め、人口減少に歯止めをかけ

る対策が必要である。人口の増加となる、短期的対策と中・長期的展望は。

市長 短期に、子供たちを産みやすく、育てやすい環境を今以上整備する。長期として、若い人たちの職場の確保、結婚奨励事業などが必要である。

園田 市長答弁の産みやすく、育てやすい環境整備として、「子育て中の若い夫婦には極力残業をさせない」、「一番下の子が小学校に入学するまでは、彼らには子育てがあるので、理解すべきではないか」。



▲子どもで楽しく

嬉野市では1人でも多く産んでいただくように、少子化対策事業を進めれば、企業にも働きかけやすいのではないかと。

また、未婚の女性は、このような、産みやすく育てやすい市の環境に共感してもらえれば、当然婚姻も自然と促進され、出生率も上がると考えるが。

市長 非常にいい提案だ。ぜひそういうことを企業の方に御理解をいただければと思う。

園田 適齢期を過ぎても結婚をしない女性と、結婚できない男性が多く存

田口 行政は住民が安全に安心して生活できるように努力するべきだ。災害から生命財産を守るために防災計画に基づき防災マップを作り、市民に周知する必要があると思うが。



市長 土石流対策は、県が土砂災害防止法に基づき危険防止に取り組むので、県と情報交換をしながら対応する。

嬉野市の洪水ハザードマップも作るよう考えており、平成20年度に作成のための予算を検討する。

ダム問題について

田口 塩田川の改修工事、上流にダムが3カ所あることを前提に完了している。

現在2カ所は完成して

防災マップを作り住民を守れ

田口 好秋 議員

答 平成20年度に作成予算を検討する



▲不動ダム予定地（丹生川・大舟）

いるが不動ダムについてはまだである。

市長の見解は。

市長 嬉野町長時代から整備推進のダムとして発言してきた。今後県に対し強く訴えていく。

花立水路の拡幅は

田口 馬場下排水機場の排水能力に対し、この水路の幅が狭くて水が流れてこない。

機能を発揮させるためには拡幅が必要だが、**市長** 拡幅して対処でき

在するがその対策は。

市長 広域圏組織の中で結婚奨励事業を取り組んでいきたい。

園田 高校を卒業する子どもたちに、地元への就職確保に関しては、地場産業の足腰の強化と、企業誘致が必要と思われる。6月議会の後、どのような形で助役は、企業誘

致の政策をおこなっているか。

助役 7月5日に、企業誘致推進委員会を立ち上げ当日実施した。

既に旧塩田町に進出をしている7企業の幹部の皆さんと懇談会を開いた。**園田** 9月議会後に他県への企業誘致のあいさつの予定、計画は。

その他の質問

助役 まだ県外の具体的な企業に対して行くようなことはなく、委員会の中で、検討をしたい。

旧嬉野小学校跡地の活用市道 下野く南大草野線の改修について。

がけていく。

大草野小・中学校体育館設計業者入札について

川原 7月26日に行われた10社の設計事務所の選定基準は何か。

市長 指名願いが登録されている中から、指名委員会決定した。

川原 市報9月号に入札の業者10社掲載されていたが、測量設計・コンサルタント・エンジニアリング、この3社は建築設計の実績がない。

まち整備部長 確かに実績はない、ただ営業品目に建築設計があり指名委員会審査し決定した。

川原 実績がないのに指名されたのはおかしい。

るものと理解している。

田口 上町付近が一番低い、さらに塩田の町並みが伝建地区に選定されたことを考えると、排水機能はますます重要になってくる。

市長 浦田川地区のこともあるので、地域全体の計画をつくる必要があると考えている。

財政問題について

田口 住民の様々な要求に応えるためには、財政に余裕がないと対応できない。

市長 徴収率の向上・使

その他の質問

用料金などの見直し・未利用財産の処分・交流人口定住人口の増加策で安定した財源確保などを考えている。

その他の質問

での放送はできないか。**教育長** 著作権などを調べてみたい。

収納嘱託員の配置について

答 心がけていく

川原 等 議員

公共工事の木造建築物は 在来工法で発注を



川原 今年5月にオープンした市発注のふれあい住宅は、木造建築である。

柱、梁の接合部は、在来工法とプレカット工法の2種類がありプレカット工法は、工場加工のた

め現場で組み立てるだけである。

コスト面と工期の短縮はいくらかできるが、大工さんの技能・技術の伝統が途切れると思う。

市で発注する木造建築物は在来工法で加工するようにできないか。

市長 理想としては、伝統的な技術なども保存することは大切であり、木造建築の機会があれば心

塩田中学校の 教育講演会について

川原 「日本が子どもに教えたかったこと」という演題で金美齡先生が講演され、日本の将来を担う子ども達にすばらしい影響を与えていただいた有線テレビで嬉野地区

市長 条件が合致すればできるのではないかと思う。

川原 市内の設計業者は1業者のみである。

企業体を組ませるなどで入札に参加させることはできないか。

まち整備部長 今後、各設計業者の実績、業務概要などチェックし慎重に選定する。



▲楽しいもちまき

キャンプ場のゴミ処理は 業者に委託を

野副 道夫 議員

答 業者に委託する



野副 広川原キャンプ場のゴミ処理は、農林課の職員で対応していると聞くが、業者に委託できない理由は、

市長 原則的には利用者の持ち帰りであるが、収集距離の問題もあり農林

課で対応している。

野副 広川原集落のゴミステーションから2分も走ればキャンプ場に着く。
市長 収集業者との協議を行い、今後業者で収集することになっている。

ポイ捨ての罰則は

野副 嬉野市美化条例の中で、告知に従わない場合は法律の適用を受ける。とある、この場合の罰則はどのようになるのか。
市長 5年以下の懲役、または、1千万円以下の罰金ということになる。
野副 ポイ捨て禁止の看板を設置してはどうか。
市長 ご意見を参考に研究する。

産廃処理場は安全か

野副 大野原に設置されている産廃処理場は、嬉野にとっては水瓶の上になる。

汚染されたら取り返しがつかないことになるが大丈夫か。

市長 県が定期的に調査している。



梶原 新型インフルエンザが流行すれば大きな健康被害と、これに伴う社会的影響をもたらすが、市の対策推進は、

市民生活部長 嬉野市としての推進については、今後県や保健福祉事務所の指示に従いながら行動していきたい。

梶原 実際に発生した場合の連絡体制や市民への対応は、

保健環境課長 指定医療機関としては嬉野医療センターを指定しているとの事で、連絡体制としては救急とか含めて、杵藤保健所が主になって指示を出すことになっている。

梶原 学校現場の対応は、
教育長 県の教育長より6月の下旬に通知がきており、現在養護研修会や学校長の研修会等を通して具体的に各学校でどう

新型インフルエンザの対策は

答 県と連携を取り合い対処する

梶原 睦也 議員

いうふうに対応していくか検討を進めている。

梶原 新型インフルエンザに対してタミフルが有効だが市として必要な量を確保する見通しはあるのか。

保健環境課長 佐賀県の2年間で県人口の7%分の7万2千人分、を備蓄が。

する予定で今年は半分の3万6千人分を確保する予定。

梶原 新型インフルエンザ問題は単なる医療問題としてとらえるのではなく、危機管理の問題、そういう意識に立った体制整備づくりが必要だと思う。

インフルエンザ予防接種の補助を子ども達にもできないか

梶原 高齢者に対するインフルエンザ予防接種補助制度を子供達にも適用できないか。

市長 子ども達に対するインフルエンザの予防接種ということが全面的に推進していいものかどうか、もう少し医学的にもいろんな課題もあるので、今選択性になっていると思う。

もう少し調査させていただく。

その他の質問

ゴミの減量は進んでいるのか。



▲使われないことを祈る



▲皆んなできれいなまちに

今のところ問題はない旨の報告を受けている。

市道改良の考えは

野副 皿屋バイパスの開通によって、吉田地区の出入口である喉元が皿屋から納戸料に移行した。

納戸料から羽口橋に抜ける市道は、学童の通学路であり、交通量も多い。改良の考えは。

市長 何とか取り組みたいということでも動きをしている。

野副 吉田地区全体の行政嘱託員会、また今回は

地元集落からも陳情がなされているが。

市長 努力してみたい。

野副 次に鳥越線の羽白越峠を中心に、下野側、下吉田側に至っては、道路幅員が狭いし、路面も悪い、改良の考えは。

市長 必要だと思っている、市道整備の中で考慮することになる。

野副 全体的な改良が望ましいが、できなければ路面改修だけでも早急に取り組んでもらいたい。

市長 調整しながら取り組んでいかなければと考えている。

透明性のない随意契約は、一般競争入札にできないか

芦塚 典子 議員

答 今後、適切な指示をしていく

の執行率は50%以下、農林関係は60%以下であるが。

市長 年度末の比較でないとは分からない。

芦塚 4月から12月までに4割の仕事しかできていない。

結果として民間業者に資金が3割から4割しか落ちていない。

民間は公共事業に頼っている所がある。

民間の所得は公務員の所得の半分と言う状態だ。

通常、半分の半分しか資金が民間に下りていない状況です。

年間を通じて平準化した仕事ができないのか。

なぜ業務体制の改善ができないか。

民間のために資金を流すのが本当の行政改革ではないか。

改善はどのように考えているか。

市長 できる限り早期の発注はしている。

芦塚 入札制度の透明化のために電子入札は考えているか。

緊急の行財政改革が必要であるが、特に公共事業では、昨年末の土木費

前向きに考えているが、コスト削減になる

かは別問題として検討していく。

芦塚 透明性のない随意契約は一般競争入札に出ないか。

市長 随意契約のメリットもある、今後適切な指示をしていく。

芦塚 本庁、総合市所間の組織の簡素化と事務の改善が必要である。

事務の集中管理と電算センター、市民サービスや福祉、建設、下水道のアウトソーシング（外部委託）が必要ではないか。

市長 現在の体制の中で

事務の効率化を見極めて取り組んで行く。

芦塚 特に福祉関係の簡素化が必要である。

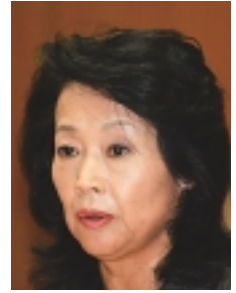
福祉、保健環境、医療のデータベース化が必要、60歳以上の市民にICカードを配布し、医療費、保健、福祉関係に摘要して、国保の増大や、老人医療費の増大に歯止めをかける必要がある。

医療、福祉、保健の連携と、データベース化を急ぐ必要がある。

市長 見直しをしながら、努力していく。



▲嬉野総合支所



まちづくりドラマを (古湯・塩田津再生を映像に残しては)

秋月留美子 議員

答 実現に向けて検討する

秋月 古湯温泉・塩田津の歴史と再生の経過をドキュメントに残しては。

嬉野のシンボルである公衆浴場古湯のかつてを知っている人達には懐かしさと思い出を、若い人達には愛されてきた歴史と親しみを覚えてもらう。塩田津は江戸から明治

の建物で職人の技が息づく伝統建造物に認定されたまちなみです。

この両町の歴史的価値ある財産を次代に繋げるべく努力している方たちと共に映像に残すべきと考ええる。

そうしてできた古湯温泉・塩田津再生完成記念映画を両町民が見、お互いを理解しあう絶好の機会と考える。

その映像は外にも発信し、嬉野市のイメージづくりとなり行政と市民の

協働のまちづくりの成果となると考えるが。

市長 歴史経過は冊子に取りまとめている。

再建についてはビデオなどの記録として残すことができれば、復活した古湯として今まで以上に親しみを持ってもらおうと考える。

再生の記録方法についてはリーディング事業の審議会や部会が発足している。

そちらで実現に向けて検討をしていただく。

産前産後のヘルパー助成制度を

秋月 年々減少傾向で歯止めが利かない少子化対策として、主に家事全般(食事の支度・洗濯・掃除・買い物・上の子が

いる場合その世話など)の訪問ヘルパー助成を。



▲古湯再建に役立てて (佐賀新聞 7月20日付掲載)

(鳥栖市にはヘルパー利用料金1時間770円のうち270円を市が負担するワンコインサービスが受けられる制度がある)

市長 育児支援家庭訪問事業を以前から行っている。

状況等を把握しながら対応していき今後、充実できるよう努力する。

その他の質問

景観計画について。学校給食の時間について。身障者用トイレについて。

社会文化施設の体育館を

西村 信夫 議員

答 文化面が加わる施設で検討される

も発足し、社会体育館建設、茶業研修施設の建設、古湯温泉の整備、温泉集中管理の4事業が決定している。

今後、実現に向けて努力したい。

社会体育館建設は、専門家への基本構想の整備依頼を行い、嬉野にふさわしい施設として検討を進めたい。

西村 社会文化施設を含めた体育館建設なのか。

市長 基本的には体育館の発想からスタートして文化面も含めた検討が行われると思う。

温泉の集中管理は

西村 集中管理の施策は。
市長 天恵の温泉資源を保護管理し、温泉観光都市として基盤を守る計画です。

集中管理が完成すると、湯量の安定供給が可能になり、幅広く温泉の恩恵が受けられる。

西村 現在の泉源管理状況をうかがう。

商工観光課長 個人会社の泉源であり、保守点検



西村 合併の両町が一体性の速やかな確立を図るため、合併特例債を活用した公共施設の整備(リーディング事業)の目的と経過を具体的にうかがう。

市長 既に審議会の組織

監視カメラ設置は再検討されたい

山田伊佐男 議員

答 施設管理者としての責務で設置する



山田 監視カメラの設置目的と、九州内の設置状況を明確にされたい。

市長 防犯対策である。平穏な状況で適切な利用と運用を確保したい。九州管内での設置は少ない。



▲どう整備する大茶樹

山田 500万円を投入して本庁に11台、支所に7台設置して安全の確保ができるか。

市長 安全にたいする代価が必要である。予算については、適切であると判断している。

山田 市民の肖像権、プライバシー権を侵害してまでも設置するか。

市長 施設の安全を守る権利、義務があると判断した。

山田 肖像権、プライバシー権が市民にはある。

そのための、条例や規則が提案されていない。そのことが問題だ。再検討されたい。

市道の改良は継続して取り組まれない

山田 不動山の丹生川線、中不動俵坂線、俵坂線は地区民の生活道路だ。

また、観光面でも重要な道路である。

一部改良後放置されている。

市長 今後の改良計画は。今後の改良計画は。今後とも全体的な市

道の整備予算の動向をみながら対応したい。

建設課長 丹生川線は、用地買収の必要がなく現在の道路敷きで検討したい。

中不動俵坂線は現地を調査し検討したい。

大茶樹 関所跡周辺整備を急げ

山田 大茶樹周辺整備計画が策定され、6年を経過した。

補助事業がないのなら、合併特例債を活用して対応されたい。

関所跡は、私の再三の質問に対し、周辺地権者の理解を得ると答弁だったが対応したのか。

市長 合併特例債事業は50億円がメドで今後の課題である。

関所跡は、3月議会以降、指示した。

その他の質問

障がい者自立支援法の施行に伴う負担増に対する軽減策について質した。『広域圏での対応に努力したい』との答弁。

含めて泉源所有者が運営している。

西村 集中管理が完成して、塩田町まで温泉を引く考えはないか。

市長 塩田町まで配湯することは厳しいと思う。

古湯温泉整備事業は、公衆浴場機能を持った木造建築の方向で議論されると考えられる。

また、公園整備も進める。

西村 古湯温泉再建には

駐車場の確保が急務であるが市長の見解は。

市長 近隣地に検討し、整備を考えている。

給食費未納について

西村 学校現場で給食費未収金が大きな問題になっている。

理由のない給食費の未払いは嬉野市全体で約1千430万円である。

未納者の徴収態勢の強化を図るべきと思うが教育長の見解は。

教育長 保護者会議、PTA役員会等で実態説明、学校だよりで呼びかけ、戸別訪問などとして納入意識を高めるよう指導したい。

西村 現在の徴収率は。

教育長 98%です。



▲社会文化施設の体育館（イメージ図）

親しみやすい公園として 整備できないか

小田 寛之 議員

答 再度点検し必要であれば整備する



小田 和泉式部公園にある展望台はあまり市民に知られてなく、利用されていないのは問題だ。

また、展望台までの遊歩道の左側は急斜面になっており足場が悪い上に草が生い茂り、転落防



▲見晴らしのわるい展望台（和泉式部公園）

止用のロープなどもない。展望台からの景色も周辺の木々が成長し、数年後には遠くの景色さえも見えなくなる。

本来の役目を果たす展望台として整備せよ。

市長 再度点検し必要があれば整備したい。

景観等も考慮し点検するよう指示していきたい。

小田 子育て真っ最中の20名で公園を見に行ったが、ほとんどが整備すべきとの声であった。

深刻な人口減少の問題、

子育て環境の面からも整備することは重要だ。

市長 親子の触れ合いの場所として非常にすぐれた場所と理解している。

西九州新幹線について

小田 隣接する鹿島市の

同意が得られていない。

鹿島市民に対しても、

嬉野温泉駅を利用すると

どんなメリットがあるか

嬉野市が先立って計画を

打ち出す必要がある。

市長 近隣の市町村への



大島 嬉野茶のブランド力、名声を上げるためには茶業センターの早期着工が望まれる、現在、建設準備委員会での進捗状況をうかがいたい。

市長 リーディング事業と位置づけ、施設の概要、場所など検討いただいている。

大島 場所の選定について市長としての考えを。

市長 生産者の方が利用しやすい又近隣の方々にも理解してもらうような場所を望んでいる。

大島 観光面も考えれば展示施設なども是非とも

必要な施設ではあるが併設での建設となればスปีドが落ちるのではないか。

市長 当初の施設としては製造研修施設と考えている。

茶業研修センターの 建設を急げ

大島 恒典 議員

答 できるだけ早い建設に
努力する



▲指定農道が通学路（下宿）

将来は交流施設、展示施設も整備していきたい。ただ、時間的にも余裕がないので、できるだけ早くと考えている。

指定農道（下宿・内野線）

大島 通学道路として大変危険な道だと思いが市長、教育長の認識をうかがいたい。

議員決議

飲酒運転の追放に

関する決議

飲酒運転による痛ましい交通事故が依然として後を絶たず、多くの尊い命が失われていることは、誠に遺憾である。

私たちは、こうした現状を真摯に受け止め、市民一人ひとりが飲酒運転による交通事故の悲惨さを深く認識するとともに、家庭、職場及び地域社会全体が相互に戒めあい、飲酒運転を一掃する地域社会を目指して、ここに飲酒運転追放を宣言するものである。

豊かで住みよい安全安心なまちづくりは、市民すべての共通な願いであることから、嬉野市議会は、飲酒運転が根絶することを願い、ここに「飲酒運転追放宣言」を決議する。



▲乗るなら飲むな！

働きかけ等は県と連携をとり、できることがあれば積極的に取り組みたい。

小田 市役所のホームページでは、武雄市が賛成の立場での説明、鹿島市は反対の立場での説明がある。嬉野市は新幹線について掲載があるか。

企画課長 まだ掲載して

いない。

小田 推進する立場である嬉野市だからホームページ上に載せる必要があると思うが。

市長 整備するようにしていきたい。

小田 駅に着いた時点で予約なしで借りられる実車のあるレンタカーの営

業所は必要だ。

市長 まったく賛同する。レンタカーの整備はぜひ取り組みたいとおもっている。

その他の質問

学校施設について。

教育長 危険性があると

いう事を十分認識させて指導している。

市長 農道という性格上、いろいろな意見があるが、地元の承認を頂ければ市道に昇格させていろいろな整備ができるのではな

大島 いかにいう気持ちはある。みゆき通りとの交

差点付近では、ここ2・3年非常に事故が多発しているが、その事で警察と協議された事はあるか。

市長 県と協議した経緯はない。

大島 街路灯の効果、交差点付近の視認性を考えて街路樹の植栽を抜本的に考え直す必要があるの

ではないか。

市長 市から申し入れて定期的に整備いただいている。

今回の御意見を踏まえて一応御意見は伝えていく。

その他の質問

消防水利について。

駆け抜ける 委員会活動



▲大草野小学校 校長室にて

校長会と意見交換

市内小・中学校

文教厚生委員会

塩田中学校の耐震診断が実施されるが、市内の小中学校には築30年以上の建物が多い。今回五町田小・大草野小を視察調査した。また学校教育では、ゆとり教育の実施や学力低下・青少年犯罪の低年齢化・いじめ・虐待など多くの問題が累積しているため、市内校長会と意見交換会をおこなった。

委員会の意見

1、小学校での社会体育、学校や地区との連帯が不十分でクラブ活動優先の意識が学校や地区行事の参加に問題を引き起こしている。

2、不登校児童への対応、スクールアドバイザーや心の教育相談員の増員や対応日の増加

が必要である。

3、2学期制

2学期制と3学期制を比較し、どの制度が良いのか今年度の状況をよく見て学校側と保護者側で十分意見交換を。

4、学校施設について。

築30年以上の施設については速やかな改築計画が必要である。市全体の財政計画とリンクさせながら計画の策定が必要。



▲防災意識の高揚を求めて

市内

市内の消防団活動について

総務企画委員会

団幹部と懇談会

消防団活動はいろいろな問題が山積みしている。行政と一体となつての解決が望まれている。8月17日に「各部の活動について」団幹部と委員会の懇談会をした。

消防団の要望

- 1、消防審議会の立ち上げ。
- 2、消防施設の設置は、団とも協議を。
- 3、文化財に対する消防態勢マニュアルの作成。
- 4、市職員への、団に対する理解を深める指導を。

委員会の意見

- 1、水利の設置などは、消防団などの意見を反映して設置を。
- 2、企業で働く人や経営者に、団の訓練や災害時の活動など理解と協力を求めていくべきである。
- 3、女性は、日常生活の中で、火を取り扱う場面が多い。
防災意識の高揚を図る意味でも女性消防団員確保に努めるべきである。

産業建設委員会

塩田津の再生・蘇生

うきは市吉井町へ



▲塩田津の将来を描いて

委員会の意見

吉井町は、平成17年度までに修復、修理合わせて135件整備している。「鉄は熱いうちに打て」を基本に申請があれば、100%受け入れていた。

今は、年間40～50万人の観光客が訪れているが、宿泊するのではなく、ほとんどが日帰りである。また、宿泊があつたとしても近隣の温泉郷や日田などへの宿泊が多く、昼食に於いてもうきは市内には団体を受け入れる施設が少なく、柳川方面へと観光客が流れている状況である。

嬉野市に於いても観光問題として「塩田津」重要伝建地区の整備が進めば、多数の観光客が訪れるものと期待される。嬉野温泉への宿泊と合わせて「塩田津」伝建地区の観光客に昼食時名物料理の工夫が必要と思われる。

幸いにも塩田川に面しているので川魚料理、特に「うなぎ」など大いに魅力があり、柳川のうなぎ料理に負けないような名物料理を早急に考案されることを提案したい。

台風13号各地に爪あとを残す!

9月17日午後九州に上陸した台風13号は、九州全土に被害をもたらしました。

特に宮崎県の突風(竜巻)は想像を超える災害でした。

今回の台風では、豪雨は避けられたものの、風による災害は嬉野市も難を逃れることはできませんでした。



▲吉田中屋根瓦被害

人的被害が軽傷1人であったことは、不幸中の幸いと思われるます。

但し、残念なことには、屋根瓦破損が400戸以上・ビニールハウスの破損が40棟弱、被害に遭ったと報告されました。

災害に遭われた市民の方には、衷心よりお見舞い申し上げます。

議長交際費

平成18年7月1日～9月30日現在 (単位:円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	1	4,240
会費	1	8,000
その他	5	8,800
計	7	21,040

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳
 - ※他自治体からの視察時への支出 (茶菓子代) 4団体来庁 6,800円
 - ※他自治体への視察研修 (土産代) 1団体へ 2,000円

うれしの名月茶会

嬉野温泉うさぎの会

第4回の名月茶会が、みゆき記念館で10月6日に開かれました。

今年は、福岡からお神楽集団を招いて上演され、地元産の釜炒り茶、蒸製玉緑茶、釜炒り抹茶、紅茶、それに、鍋島茶粥とお茶菓子のもてなしがなされました。

鍋島茶粥は、江戸時代に蓮池藩が長崎警備の役があり、サツマイモが他地方より早く長崎経由で入ってきたこともあり、米の節約のため、茶粥にサツマイモを入れ食べていた故事にちなみ、再現したものです。

当日は、福岡、長崎方面や鹿児島からの来場者もあり、嬉野中・嬉野高の学生さんの参加などで、270名以上で楽しめました。茶室前の水琴窟もはじめて知られた方も大勢で今後も続けての開催が望まれます。



上久間大堤 魚取り

恒例の大堤の魚取りは、上久間・下久間地区の人々が泥水流しを兼ねた行事であります。

この行事は、毎年稲刈りが終わった頃に老若男女が入り乱れ、鯉取りに胸まで沈み、山里の魚師が揃う風物詩として今日も続けられています。

この大堤(総水量123千t)は今から300年前(元禄15年)蓮池藩の命を受け、上久間地区の丹生野に築かれた。



下久間地区の畑地に水路が引かれ、その地名は畑田と呼ばれている。

議会広報編集委員会

委員長 園田 浩之
副委員長 平野 昭義

委員 太田 重喜
川原 孝裕
副委員長 小田 寛之